

令和2年度 大明小学校の教育についてのアンケートの集計結果(保護者対象) 前期

調査対象人数 PTA保護者212名 提出者205名

A=そう思う B=ほぼそう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない(ない)

No.	評価項目	実施時期	単位	A	B	C	D
1	学校は、子どものよさや個性を理解し、努力を認めて対応している。	R2	人	101	94	10	0
		前期	%	49.2	45.8	5.0	0.0
新規							
2	学校は、子どもについての悩みや心配事に適切に対応してくれる。 【無回答 2】	R2	人	87	105	11	0
		前期	%	42.9	51.7	5.4	0.0
R1		後期	人	28	16	4	0
			%	58.3	33.4	8.3	0.0
3	学校からの文書や連絡等は適切である。	R2	人	115	86	4	0
		前期	%	56.0	42.0	2.0	0.0
R1		後期	人	31	16	1	0
			%	64.6	33.3	2.1	0.0
4	学校は、教育活動に適した施設・設備が整っている。 【わからない 1】	R2	人	98	97	9	0
		前期	%	48.0	47.6	4.4	0.0
R1		後期	人	25	23	0	0
			%	52.1	47.9	0.0	0.0
5	学校は、地震・災害・不審者対策をよく示している。	R2	人	127	76	2	0
		前期	%	62.0	37.0	1.0	0.0
R1		後期	人	36	11	1	0
			%	75.0	22.9	2.1	0.0
6	学校は、保護者、地域と連携・協働して教育活動を行っている。	R2	人	117	83	5	0
		前期	%	57.0	40.5	2.4	0.0
新規							
7	子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。	R2	人	122	76	7	0
		前期	%	59.5	37.1	3.4	0.0
R1		後期	人	26	22	0	0
			%	54.2	45.8	0.0	0.0
8	子どもは、学校生活の中で、(あいさつができる子ども)(進んで学習ができる子ども)(落ち着いた生活ができる子ども)など、豊かな心、生き方について学んでいる。	R2	人	91	101	13	0
		前期	%	44.4	49.3	6.3	0.0
R1		後期	人	26	21	1	0
			%	54.2	43.7	2.1	0.0
9	子どもは、授業を十分に理解している。	R2	人	61	125	19	0
		前期	%	29.7	61.0	9.3	0.0
R1		後期	人	14	31	2	0
			%	29.2	64.6	4.2	0.0
10	子どもは、「早ね・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身についている。	R2	人	100	88	14	3
		前期	%	48.8	42.9	6.8	1.5
R1		後期	人	17	25	5	1
			%	35.4	52.1	10.4	2.1
11	子どもに携帯電話を持たせていますか。 【無回答 7】	R2	人	45			153
		前期	%	22.7			77.3
R1		後期	人	14	3	1	30
			%	29.2	6.2	2.1	62.5
12	子どもと携帯電話のルール作りをしていますか。 (携帯電話を持たせている場合のみ回答)	R2	人	42			3
		前期	%	93.3			6.7
R1		後期	人	14	3	1	0
			%	77.8	16.7	5.5	0.0

13	子どもたちは、家庭や地域の中で、あいさつをしている。	R2	人	66	110	24	5
		前期	%	32.2	53.7	11.7	2.4
		R1	人	16	25	7	0
		後期	%	33.3	52.1	14.6	0.0
14	家庭と学校は、連絡や意思の疎通が図られている。  【無回答1】	R1	人	87	106	11	0
		前期	%	42.6	52.0	5.4	0.0
		R1	人	26	20	2	0
		後期	%	54.1	41.7	4.2	0.0

自由記述欄から（設問1～設問14にかかわって）

※表現は要約しています。

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の先生が叱るところは叱り、ほめるところはしっかりほめてくれるので、子どもがとてもやる気になっていてありがたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の先生が、子どもの悩みや嫌なこと等の話を聞いて対応してくれるので安心している。</li> <li>・子どもが困っていることを相談すると、担任がすぐ対処してくれてありがたい。</li> <li>・学年が上がる時に悩みや心配事の引継ぎがされていない。担任のみが抱え、組織で取り扱ってもらえない。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お便りやチラシが多い。本当に必要なものだけにするとちゃんと読むと思う。</li> <li>・天候不良や不審者対策、学校行事等の連絡も素早く各家庭に来るため、とても安心する。</li> <li>・休んだ時や何かあった時などの連絡がありがたい。様子を知ることができるので助かる。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室にクーラーがついているのか等、施設内の設備についてわからない。</li> <li>・体育館の雨漏りは直した方がよい。</li> <li>・外のバスケットゴールにネットをつけてほしい。</li> <li>・体育館フロア横の扉には、防犯上格子の扉をつけてほしい。</li> <li>・教室の故障した扇風機を直してほしい。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク着用が熱中症の危険を高めるので、体育など体を動かす場合は、臨機応変に対応してほしい。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日学校に行くのが楽しみな様子で、先生方に感謝している。</li> <li>・制限付きの生活の中で学校へ行く楽しみが減ってきているようです。</li> <li>・先生とも友だちともよい関係を築けていることが子どもの会話から垣間見え安心している。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休校のため、授業のペースが速いように感じる。理解してついていけるか心配。</li> <li>・理科は、教科書が学校保管だったり、実験内容だったりすると、児童ができていないことについて家庭では対応できない。</li> <li>・プリントやドリルのまるつけで、間違えていても全体に花まるのことがある。間違えて覚えてしまうと困るので、内容の確認をしてほしい。</li> <li>・中学と比べると学習が甘いので、中学で苦労しないように厳しくやってほしい。</li> <li>・英語の授業内容がわからないとよく話していて心配。</li> <li>・本人が勉強のコツをつかんでくれるとよい。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末になると早寝早起きが乱れてしまうので、時間にルーズにならないよう気をつけたい。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話を持たせるつもりはないが、「皆が持っているから」と言ってきて困っている。</li> <li>・携帯電話はまだ必要ないと学校からもっと伝えてほしい。</li> <li>・災害発生時に子と親の連絡手段が学校滞在時は乏しく心もとないので、キッズケータイやスマートフォンは持込可とすべき。検討してほしい。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へ行くと子どもたちからあいさつしてくれてびっくりするが、登校班など友だちと一緒にいないと自分からはしないという傾向は変わらない。目を見てあいさつする習慣がつくといいなと思う。</li> <li>・登校班集合場所でほとんどあいさつしていない。他の子たちもしないので、自分もできない。</li> <li>・毎日登校班を見送るが、あいさつしてもほとんどの子どもたちがあいさつしない。</li> <li>・あいさつ運動に力を入れたい。</li> <li>・あいさつをしてくれる子が決まっている。</li> <li>・もっと元気よくあいさつしてくれるとよい。</li> <li>・あいさつをしない子が、目を合わせられない、笑いもしないことが心配。話しかけても無視もしくはうなずくだけで態度が悪い。</li> </ul>

14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳にコメントを書いた時、担任が読んだのかがわからないので一言ほしい。</li> <li>・今年度は、家庭訪問や授業参観がなく、子どもが学校でどんな過ごし方をしているのか、担任や友達とどのようにかかわっているのか、子どもからの話でしか知ることができないので少し心配もある。</li> </ul>
他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始まって数カ月なので、まだわからない。</li> <li>・忙しい中、とても丁寧な対応に感謝している。</li> <li>・コロナ禍で学校の対応も大変だと思い、感謝している。これからも気を緩めることなく対応していただきたい。子どもたちががんばっている。保護者・地域も協力するので、これからもよろしくお願いします。</li> <li>・暑さ対策のために日傘を使う学校がある。暑い夏が続くので日傘を持たせて登校させたい。</li> <li>・1度も学校の様子が見学できていないので、学校での様子がわからず心配・不安が大きい。</li> <li>・ゲーム、ユーチューブ等の決まり、やりすぎによる害について、教育に組み込んでほしい。</li> <li>・大明小の子どもたちは、下の学年に対してとてもやさしいと思う。</li> <li>・アンケートを全家庭対象にしたことはよかった。</li> <li>・毎日学校に通い、集団の中で社会性等様々なことを学び成長する姿を通して、学校の存在の大きさを感じている。</li> <li>・コロナウイルスへの対応は、よいとは思えない。個人での訪問や課題などほとんどなく、家での対応がほとんどでドリルやプリントなど親の負担が多かった。子どものことを細かく気遣うことが必要だと思う。</li> </ul>

## 全体の考察

今年度よりアンケート回答対象を全世帯にしたことで、保護者の声をより反映するという学校からの意図は達成できた。全体的に例年通りの傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症対策により、子どもたちにとって学校生活が安定しなかったこと、授業参観や家庭訪問を実施できなかったことによる保護者と教職員のコミュニケーション不足による不安がアンケート結果に表れている。

通常の学校生活や、行事等による子ども・保護者・教職員のコミュニケーションがいかに大切かを改めて確認できた。2学期に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を継続する中でも、子どもたちが安心して学校生活を送り、学習できるように、また、保護者と教職員のコミュニケーションがとれるように、さらに工夫していく必要がある。

## 学校教育・学校経営・学校運営について(設問1～8)

### 【4 学校施設・設備】

- ・体育館の雨漏りは、雨漏り→修繕要望→修理→劣化を長年繰り返してきた。トップライト(天窗)に原因があり、屋根に強い日差しが当たることにより、トップライトのガラス周りにあるゴムや樹脂がすぐ劣化して雨漏りになる。今年度、やっとトップライトを撤去する要望が通り、2学期に工事を行う。
- ・エアコンが設置されたことにより、扇風機は、壊れたら終わりということになっているので、扇風機の修理・新設はできない。(業者にみてもらったが、今作動しないものはすべて損壊している。)教室が暑かったのは、感染症対策のために必要以上に窓を開けていたことに原因があり、冷気が換気されてしまっただけでエアコンの設定温度を基準より下げても涼しくないという状況にあったので、養護教諭を中心に換気のしかたを確認し、十分に換気かつ室温を涼しく保つことができるようになっている。

### 【5 地震・災害・不審者対策】

- ・1学期に予定していた訓練ができていないので、できることを計画する。特に、予告なしの避難訓練は、昨年度の結果があまりよくなかったので行いたい。

### 【6 地域との協働】

- ・新学習指導要領で、新たに重視するのが「地域と学校との協働」である。地域と学校がともにWIN-WINの関係にあるように、新たに項目に取り入れている。今後、無理がないように進めていきたい。

### 【7 学校が楽しい】

- ・肯定的回答が95%以上だが、否定的回答者もいる。毎年定期的実施する「楽しい学校生活を送るためのアンケート(Q-Uテスト)」の結果も参考にしながら、学級担任を中心に連携して対応する。

### 【9 学習理解】

- ・1学期が約2か月間と、通常の半分の期間しかなかったことがやはり響いている。つめこみにならないように授業時間を優先し、内容を精選したり、順番を入れ替えたりして授業を行っているが、例年のように配当時数より時間を増やしてより丁寧に行うことは難しく、より重要な内容に時間をかけると、時間をかけられない学習がでてくる。
- ・プリント等の丸つけについて、算数と漢字は、間違っ覚えてしまうことにつながるので一つ一つに丸つけをする確認を職員全体に行った。
- ・理科の教科書等を学校保管にするのは、理科の授業を担当でない教師が受け持つためか、忘れ物が非常に多く、授業に支障をきたす実態があったためにやむを得ず行っているという実情がある。しかしながら好ましい措置ではないので、ご家庭にもご協力をいただきながら、本来の形にしていきたい。

## 子どもの様子、家庭と学校の連携の様子について(設問9~14)

### 【11 携帯電話】

- ・キッズケータイも同様に扱ってカウントしている。
- ・必要がない場合に、安易に持たせないようご家庭で努力していただいているのがありがたい。
- ・スマホだけに限らずオンラインゲームやSNSができる機器については、年間に必ずトラブルが出てくるので学校でも指導を行いたい。今年度は6月にNTTドコモの方に来て話していただく予定だったが感染症対策で中止となっているので、代替指導措置を計画したい。
- ・学校への携帯電話持ち込みについての文部科学省有識者会議の結果(令和2年8月通達)、小学校では今までと変わらず原則持ち込み禁止となっている。

### 【13 子どものあいさつ】

- ・例年通りの状況が続いていることがわかる。自由記述欄にご記入いただいた内容は、おおよそ学校でも把握しており、校長を中心に、児童会本部でも挨拶を重視し元気にあいさつできる取り組みを行っている。しかし、学校ではあいさつできるが、地域ではできていない様子は想像できる。あいさつは、する側が自分の心を開く行為なので、される側があいさつを返さないと不安になり、「こっちが心を開いているのに、相手は心を開かなかった。」となり、不愉快に感じることに繋がる。目も合わせない、反応もないとなると、不愉快を超えて心配になる。
- ①なぜ、あの子はあいさつできなかったのか(心を開くことができなかったのか)、その子の背景に何があるのかを考えてみる必要がある。
- ②あいさつすると何がよいのかを子どもに実感させる。あいさつできる子は、人間関係でとても得をしていることを理解させる。
- ③みんながしないから自分もしないというだけの子もいるので、みんながあいさつできる雰囲気を作り強く作っていく。
- ①②③を、家庭・地域・学校がそれぞれ行うのではなく、連携して行う必要がある。PTA活動でのご協力をいただけるとありがたい。

### 【14 家庭と学校の連絡、意思疎通】

- ・昨年度後半より評価が下がっているのは、新学年で新体制になったのに、感染症対策で保護者が来校できなかつたり、学級担任が家庭訪問できなかつたりしたことで、コミュニケーションが不足したためと考えられる。保護者が教室に入ることによって教室内に人が密集してしまうこと、学級担任が家庭訪問をすることでウイルスを媒介する危険があることをご理解いただきつつ、家庭と保護者の意思疎通、コミュニケーションは欠くことができないものなので、2学期以降、状況を見ながら授業参観の仕方を工夫するなど、保護者来校の機会をつくっていきたい。